

# **Cariot Ver2.14 リリースノート**

- (1). 稼働中の車両を識別するための視覚効果を追加 (リアルタイムモニタ、エリア)
- (2). リアルタイムモニタで車両を追跡して地図を表示
- (3). エリア画面に車両の速度を表示
- (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加
- Cariot 2.14 のインストール方法

# (1). 稼働中の車両を識別するための視覚効果を追加 (リアルタイムモニタ、エリア)

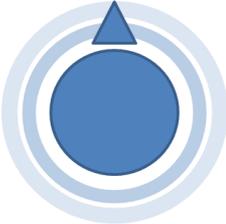
## ■ 課題 (要望)

- 稼働中の車両と、稼働していない車両を見分けてたい。
- DriveCast と同じように、稼働中の車両を波線で表示して視覚的にわかりやすくしてもらいたい。

## ■ 改善点 (対応内容)

- 車両のリアルタイムモニタとエリア画面で、稼働中の車両に波線の視覚効果を追加しました。
- これにより稼働中の車両と、稼働していない(停止している)車両を容易に区別することができます。



	稼働中 (デバイスの電源がオン) の車両
	稼働中ではない (デバイスの電源がオフ) の車両

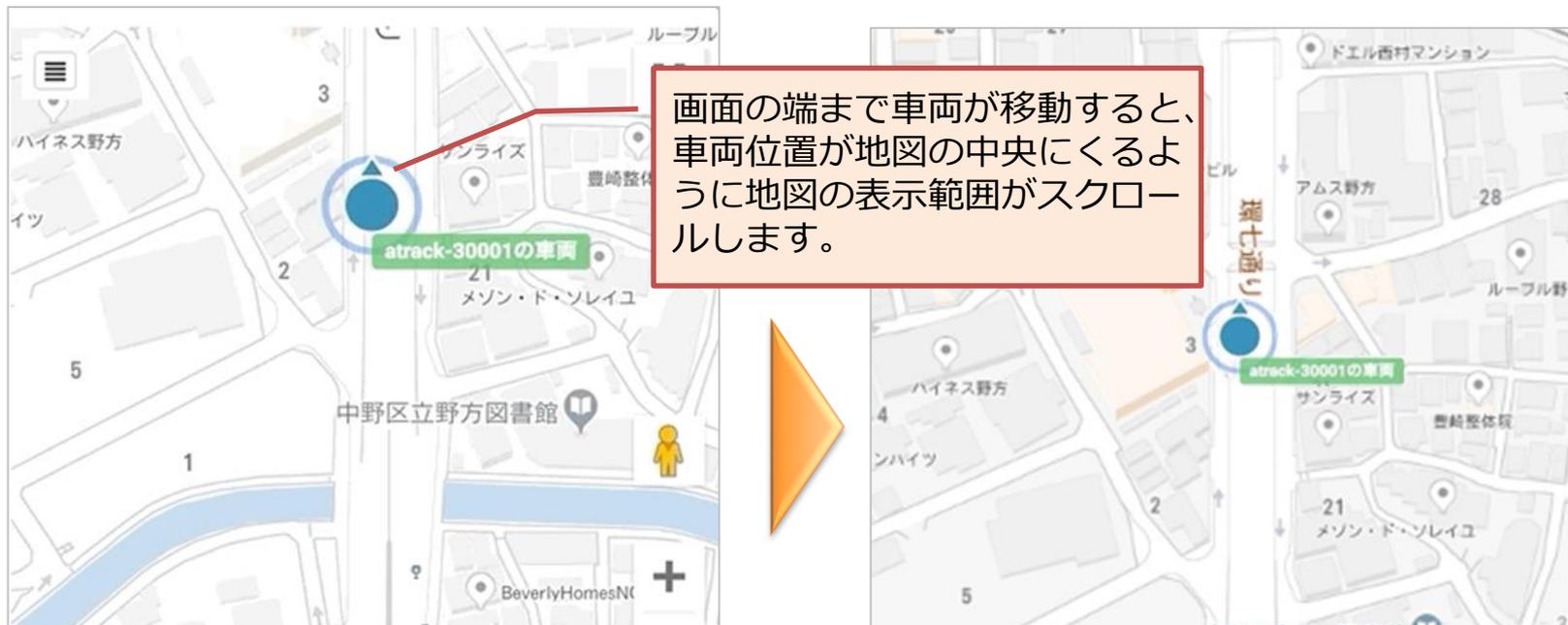
## (2). リアルタイムモニタで車両を追跡して地図を表示

### ■ 課題 (要望)

- リアルタイムモニタの画面で車両を追跡してほしい。
- 車両の移動に合わせて手動で地図をスクロールしないと、車両が地図の表示範囲から消えてしまう。

### ■ 改善点 (対応内容)

- リアルタイムモニタで、地図の表示範囲が車両を追跡して自動スクロールするように変更しました。



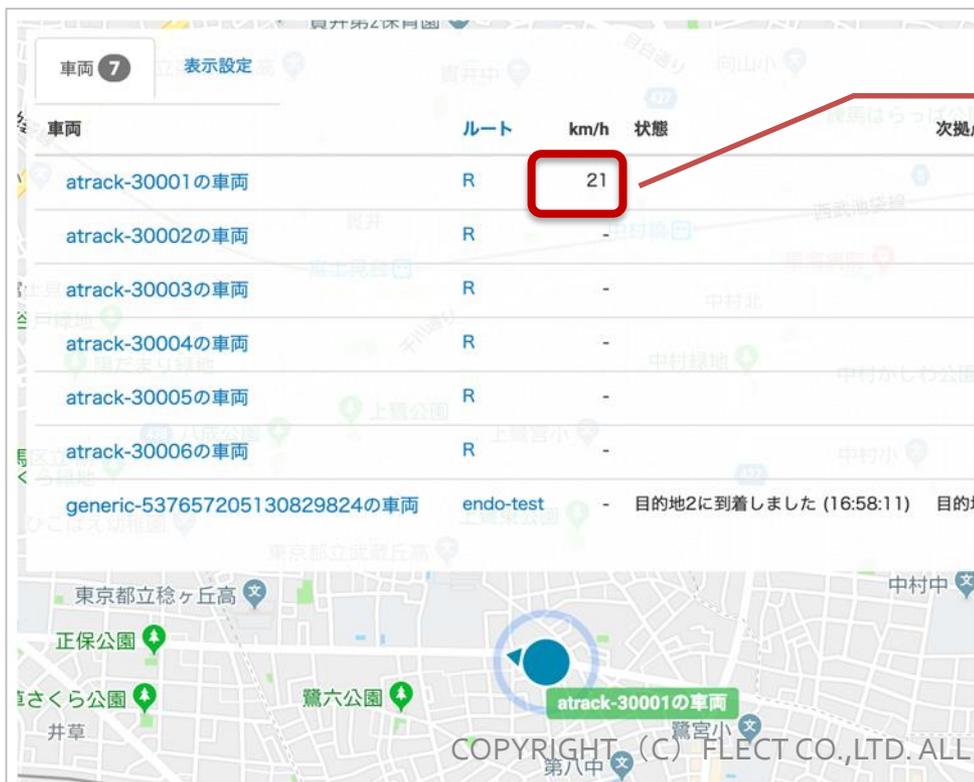
### (3). エリア画面に車両の速度を表示

#### ■ 課題 (要望)

- エリア画面に車両の現在の走行速度を表示してもらいたい。
- エリア画面では、車両が「どこを走っているのか」はわかるが、「どのくらいの速度で走っているのか」がわからない。

#### ■ 改善点 (対応内容)

- エリア画面に車両の走行速度を表示するように変更しました。



車両の走行速度の表示を追加しました。

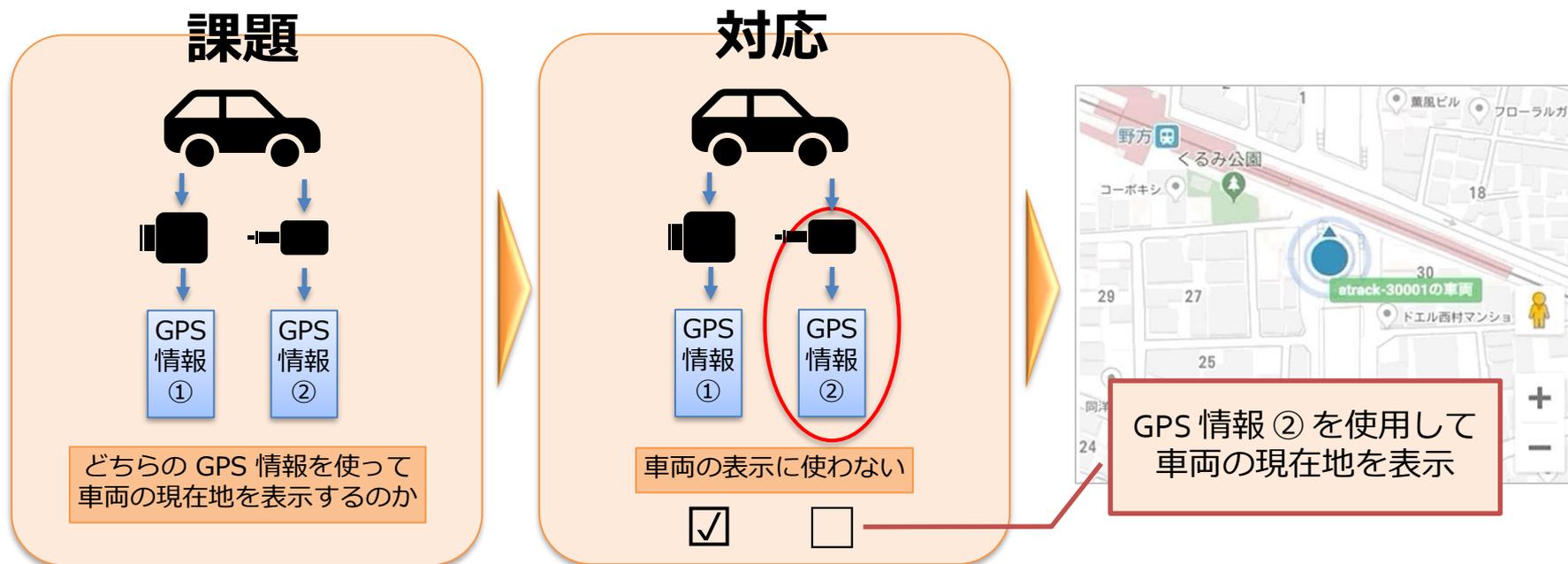
# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (1/13)

## ■ 課題 (要望)

- 1 台の車両に複数のデバイスを取り付けている場合に、Cariot 上で優先的に表示するデバイスを任意で設定したい。

## ■ 改善点 (対応内容)

- Cariot 上で優先的に表示するデバイスを任意で設定するために、[車両の表示に使わない] チェック ボックスを用意しました。



# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (2/13)

## 利用開始の手順 (概要)

- ① Cariot Ver2.14 以降をインストールします。  
\* [「コチラ」](#)から Cariot の最新バージョンをインストールしてください。
- ② デバイスのページ レイアウトに、[車両の表示に使わない] カラムを追加します。
- ③ 車両の現在地を表示するために、優先的に使用しないデバイスの [車両の表示に使わない] チェック ボックスをオンに設定します。

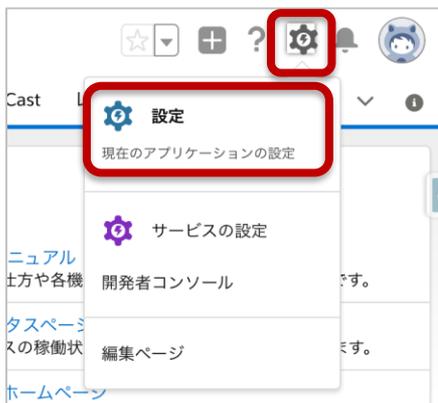
<b>LEX ユーザの場合</b> Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は LEX の表示テーマとなります。		本ドキュメントの 8 ページから 13 ページをご確認ください。
<b>Classic ユーザの場合</b> Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は Classic の表示テーマとなります。		本ドキュメントの 14 ページから 18 ページをご確認ください。

**注意** : 1 台の車両に 1 台のデバイスを取り付けて利用している場合は、以下の手順をお試しいただく必要はございません。1 台の車両に複数のデバイスを取り付けている場合のみ以下の手順をご確認ください。

1 台の車両に複数のデバイスを取り付ける目的として、走行データのビデオ取得目的でのドライブレコーダータイプと、エンジン回転数の取得目的での OBD2 タイプを併用する場合などがございます。この設定はリアルタイムモニタ、エリア画面、DriveCast で車両位置を表示する際に使用されます。

# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (3/13)

## 利用開始の手順 (LEX)



1. 画面 右上の歯車のアイコンをクリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックします。



2. 画面 上部の [オブジェクト マネージャ] をクリックします。

# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (4/13)

## 利用開始の手順 (LEX)

設定  
オブジェクトマネージャ  
49+ 件の項目 (表示ラベル順)

スコアカード	Scorecard
スコアカード割り当て	ScorecardAssociation
スコアカード総計値	ScorecardMetric
<b>デバイス</b>	Cariot__Device__c

3. 画面を下方向にスクロールし、[デバイス] をクリックします。

設定 > オブジェクトマネージャ  
デバイス

<b>詳細</b>	<b>詳細</b>
項目とリレーション	説明
<b>ページレイアウト</b>	
Lightning レコードページ	API 参照名

4. 画面 左側のペインから、[ページ レイアウト] をクリックします。

# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (5/13)

## 利用開始の手順 (LEX)



5. ページ レイアウトの一覧から [デバイス レイアウト LEX] をクリックします。

# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (6/13)

## 利用開始の手順 (LEX)

6. 画面 上部の項目の一覧から [車両の表示に使わない] 項目を [デバイスの詳細] セクションに追加します。

保存 適用 指定した形式でプレビュー キャンセル 元に戻す やり直し レイアウトのプロパティ

項目

- ボタン
- クイックアクション
- モバイルおよび Lightning のアクション
- 拡張ルックアップ
- 関連リスト

クイック検索 項目名 \*

セクション	デバイス名	所有者
空白スペース	最終更新者	
デバイスUID	作成者	
デバイスタイプ	車両	

車両の表示に使わない

ドラッグ & ドロップして項目を追加します

Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション

編集 削除 所有者の変更 新規行動 新規ToDo 活動の記録

デバイスの詳細

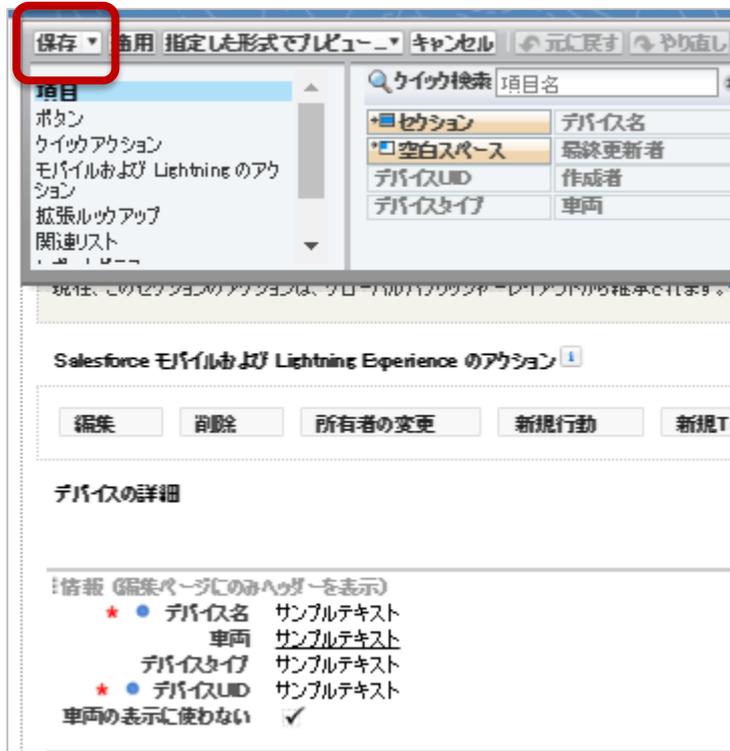
標準ボタン 編集 削除

情報 (編集ページにヘッダーを表示)

項目名	サンプルテキスト
デバイス名	サンプルテキスト
車両	サンプルテキスト
デバイスタイプ	サンプルテキスト
デバイスUID	サンプルテキスト
車両の表示に使わない	✓

# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (7/13)

## 利用開始の手順 (LEX)



7. [保存] ボタンをクリックします。

# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (8/13)

## 利用開始の手順 (LEX)

車両	デバイスタイプ	デバイスUID
<a href="#">atrack-30001の車両</a>	atrack	atrack-30001

関連	詳細	ステータス	アーカイブダウンロード
デバイス名	atrack-30001		
車両	<a href="#">atrack-30001の車両</a>		
デバイスタイプ	atrack		
デバイスUID	atrack-30001		
車両の表示に使わない	<input type="checkbox"/>		

作成者 pkgtest cariot, 2019/03/06 10:52

8. [デバイス] メニューから、車両の現在地を表示するために、優先的に**使用しない**デバイスを開きます。

9. [詳細] タブをクリックし、[車両の表示に使わない] チェック ボックスをオンにして [保存] ボタンをクリックします。

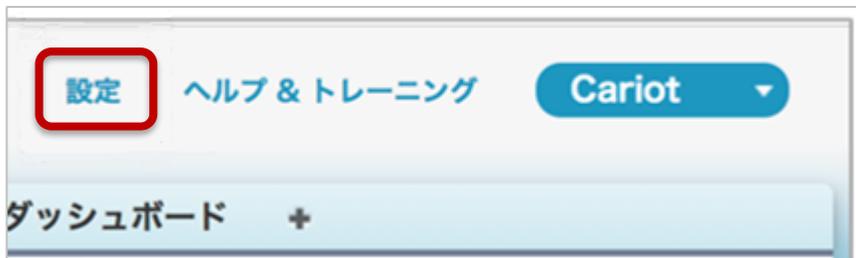
\* 1 台の車両に複数のデバイスを取り付けている場合は、優先的に**使用する**デバイスの [車両の表示に使わない] チェック ボックスをオフに設定し、残りの優先的に**使用しない**デバイスの [車両の表示に使わない] チェック ボックスをオンに設定します。

車両の表示に使わない	<input type="checkbox"/>	
車両の表示に使わない	<input checked="" type="checkbox"/>	

ペンのアイコンをクリックすると編集モードになり、チェックのオン/オフが行えます。

# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (9/13)

## 利用開始の手順 (Classic)



1. 画面 右上の [設定] をクリックします。



2. 画面 左上の検索ボックスに「オブジェクト」と入力し、検索を実行します。次に、[作成] の配下にある [オブジェクト] をクリックします。

# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (10/13)

## 利用開始の手順 (Classic)

### カスタムオブジェクト

カスタムオブジェクトとは、Salesforceの組織に固有のデータを保存できるデータベース機能を開発できます。

カスタムオブジェクトを作成すると、カスタムタブ、カスタム関連リスト、レポート、ダッシュボードデータにアクセスすることも可能です。

アクション	表示ラベル	インストール済みパッケージ	カスタムオブジェクト
編集	エリア	CariotCore	
編集	エリアルート関連	CariotCore	エリア、ルート
編集	スケジュール	CariotCore	
編集	デバイス	CariotCore	

3. 一覧から [デバイス] をクリックします。

アクション	ページレイアウト名	インストール済みパッケージ
編集	デバイスレイアウト	CariotCore
編集	デバイスレイアウトLEX	CariotCore

4. 画面を下方方向にスクロールし、[ページレイアウト] セクションから [ページレイアウト名] カラムが「デバイスレイアウト」の [編集] をクリックします。

# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (11/13)

## 利用開始の手順 (Classic)

5. 画面 上部の項目の一覧から [車両の表示に使わない] 項目を [デバイスの詳細] セクションに追加します。

保存 適用 指定した形式でプレビュー キャンセル 元に戻す やり直し レイアウトのプロパティ

項目

- ボタン
- クイックアクション
- モバイルおよび Lightning のアクション
- 拡張ルックアップ
- 関連リスト

クイック検索 項目名 \*

セクション	デバイス名	所有者
<input type="checkbox"/>	空白スペース	最終更新者
<input type="checkbox"/>	デバイスUID	作成者
<input type="checkbox"/>	デバイスタイプ	車両

ドラッグ & ドロップして項目を追加します

Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション

編集 削除 所有者の変更 新規行動 新規ToDo 活動の記録

デバイスの詳細

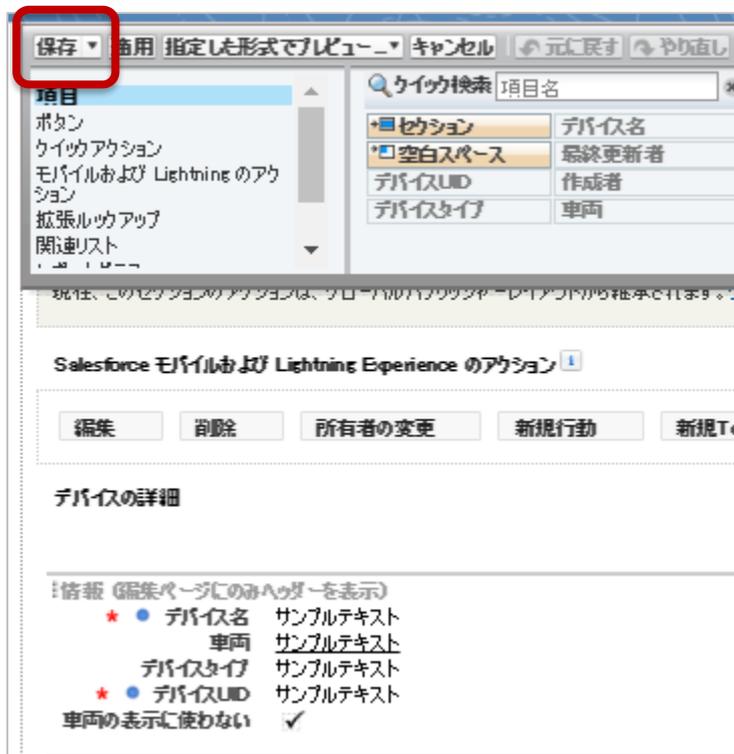
標準ボタン  
編集 削除

情報 (編集ページにヘッダーを表示)

項目名	サンプルテキスト
<input type="checkbox"/> デバイス名	サンプルテキスト
<input type="checkbox"/> 車両	サンプルテキスト
<input type="checkbox"/> デバイスタイプ	サンプルテキスト
<input type="checkbox"/> デバイスUID	サンプルテキスト
<input checked="" type="checkbox"/> 車両の表示に使わない	<input checked="" type="checkbox"/>

# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (12/13)

## 利用開始の手順 (Classic)



6. [保存] ボタンをクリックします。

# (4). 1 台の車両に複数のデバイスを登録した場合の表示設定を追加 (13/13)

## 利用開始の手順 (Classic)



7. [デバイス] メニューから、車両の現在地を表示するために、優先的に**使用しない**デバイスを開きます。

8. [車両の表示に使わない] チェック ボックスをオンにして [保存] ボタンをクリックします。

\* 1 台の車両に複数のデバイスを取り付けている場合は、優先的に**使用する**デバイスの [車両の表示に使わない] チェック ボックスをオフに設定し、残りの優先的に**使用しない**デバイスの [車両の表示に使わない] チェック ボックスをオンに設定します。



[車両の表示に使わない] チェック ボックスにカーソルを合わせた状態でダブルクリックすると編集モードになり、チェックのオン/オフが行えます。

以下のページからインストールを行ってください。

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t0K000001AAQG>

アップグレード CariotCore  
コメント作成者 Cariot/パッケージ開発組織

現在の Cariot バージョン

これからインストールしようとしている Cariot バージョン

以前のバージョンがインストールされています。既存のデータを保持したままアップグレードできます。  
インストール済み: 2.14 (2.14)    新しいバージョン: 2.14 (2.14)

管理者のみのインストール     **すべてのユーザのインストール**     特定のプロファイルのインストール

**2**    **アップグレード**    キャンセル

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
CariotCore	Cariot/パッケージ開発組織	2.14	2.14

その他の詳細    コンポーネントを表示

1. [すべてのユーザのインストール] をクリックします。

2. [アップグレード] ボタンをクリックします。